

「播磨国風土記」の世界
比治里の国占め
宍粟郡を巡る③



▲「宇浪良村」とされる山崎町宇原

姫路駅の西南、手柄山のあたりは、風土記の時代、飾磨郡伊和里といいました。「積嶮の郡」に住む「伊和君」の一族がやって来て住んだことから名付けられた里名です。宍

禾郡を本拠地とする伊和大神を祀る人々は、姫路城の近くまで勢力を伸ばしていたのです。

そうした時代の記憶が、伊和大神にまつわる様々なエピソードとして、風土記の中に残されました。そのひとつが、「国占め」です。国占めとは、その土地を自分の領土とする行為を意味します。宍禾郡の地名由来も、それに関連した話が少なくありません。ただ、宍禾郡での国占めの話の多くは、伊和大神を「大神」、あるいは「葦原志許乎命」と記しています。アシハラノシコフは「古事記」「日本書紀」などで活躍する大國主命の別称の一つですが、「播磨国風土記」では伊和大神を意味していると考えられています。

狭くて家の戸のようだ」と言ったので「表戸」となり、ウハラと呼ばれるようになったとか。現在の宍粟市山崎町宇原あたりです。また、稲舂岑は大神がここで稲をついたことから名付けられ、その「梗」が飛んでいった場所は「梗前」と呼ばれたそうです。稲舂岑にはおいしい栗のなる木があったそうですが、稲舂岑も梗前も現在地ははっきりしていません。

神前郡多岐里に出てくると「梗岡」は姫路市船津町八幡にある小丘だとい、揖保郡林田里に記された神々が稲種を積んだ稲種山は姫路市西北部に位置する峰相山とされています。古代の人々にとって、稲は神聖な植物でした。

次回は、伊和大神と国占め争いをした天日槍命の話をしたしたいと思います。（播磨学研究所研究員 埴岡真弓）

おいでよ図書館へ



宍粟市立図書館 ☎ 62-4620

夏休み子どもおりがみ教室

「キラキラ夜空に★とびだせロケット!!」

7月26日(土)

時間:午前9:00~11:00

対象:小学校3年生~6年生

定員:20人

定員になり次第締め切ります。

申込みは図書館へ



今月の
オススメ

海山・キャンプ場で
アウトドア救急ハンドブック

著者/柏 澄子

野外のさまざまな場所には、安全に遊ぶための危険やケガの危険、よくあるケガや病気の応急処置法など、日常生活にも役立つ一冊です。



田んぼと水辺の生き物
はじめての飼育と採集

著者/松沢 陽士

採取した生き物の持ち帰り方や長く飼育するためのコツなど、分かりやすく細かい情報が満載です。知っておくべきマナーや禁止事項なども教えてくれます。

図書館カレンダー

□ 休館日 □ 館内整理日(休館)
【開館時間】 午前10時~午後5時30分

日	月	火	水	木	金	土
			15	16	17	18
		20	21	22	23	24
		27	28	29	30	31
7月						
					1	2
	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					
8月						

編集
後記

先日、「さつき園」の方々が公用車を洗車してくれました。梅雨の晴れ間の暑い日でしたが「洗車って、楽しい」と作業されている姿が印象的でした。また「トライやる・ウィーク」で今月号の広報を手伝ってくれた生徒たちも、大変な取材(写真撮影)を楽しいと言ってくれました。何事も気持ち次第で楽しくもなり、嫌にもなるのだと改めて気付かされたように思います。ジメジメとした梅雨を嫌な気分で行くより、水不足を解消してくれることに感謝してみようと梅雨空を見上げる今日のごろです。

真